

# 術と行の近代—精神療法・霊術・宗教— 第1回 全4巻



監修・編・解説: 吉永進一 編・解説: 栗田英彦

揃定価 91,300 円(83,000 円+10%税) (4 巻セット販売のみ)

ISBN 978-4-86670-100-4 C3347

A5 判／ハードカバー／全 2,166 頁／

2021 年 7 月 25 日刊行

明治末から昭和初期にかけて、治療者数だけで 3 万人といわれた民間精神療法の一時代がありました。

この民間精神療法について、精神療法家による理論、実践、奥伝を含んだ冊子、定期刊行物を、内外からの批判、伝統宗教との対峙、業界の主導権争いが浮かび上がるような構成で編纂。これまで出版された精神療法史研究書では扱いきれなかった領域を補い、研究史を点から面へと広げる貴重資料です。

## 第1巻 精神療法の諸相 (1)

「檜山式療養法伝授録 全」檜山鐵心／研精社／1918(大正 7)年

「純心靈研究と現代霊術の正体」溝田文右衛門／皇国修霊会本部／1926(昭和 1)年

## 第2巻 精神療法の諸相 (2)

「一人で出来る 健康法」石黒憲輔／大阪屋号書店／1929(昭和 4)年

「神占霊術 祈祷師開業手続 全」日本仏教新聞社編輯／日本仏教新聞社／1935(昭和 10)年

## 第3巻 精神療法と宗教 (1)

「精神作興 活きた宗教 全」清水芳洲／東京心理協会本部、二松堂書店／1924(大正 13)年

「胆力養成 前野式静座法」前野自錐／泰山房／1917(大正 6)年

## 第4巻 精神療法と宗教 (2)

「禪と催眠術」岡田摘翠／啓成社／1909(明治 42)年

「幻々要集 全」中村環／福田社刊行部／1927(昭和 2)年